

病理学検査

()は
保存温度

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施科	報告 日数	備考	外注先
細胞診	1620 7A020	細胞診婦人科材料 7A0201652076650	42 スライド	その他の材料 少量検査不能 (室温)	パパニコロウ 染色	陰性	病理学 150	4〜9		7
	1625	細胞診その他の材料	下記参照	その他の材料	パパニコロウ 染色	陰性	病理学 190	4〜9	穿刺液の場合ギムザ染色も実施	7
	2466 7A020	細胞診婦人科 液状化検体 7A0208910085433	51 細胞診婦人科・HPV	液状化検体 少量検査不能 (室温)	LBC	陰性	病理学 186	4〜9	同一検体で婦人科液状化検体細胞診との依頼可	7

その他の材料と容器	
喀痰	喀痰容器
蓄痰細胞診 (サコマ)	サコノマ容器
尿。胸水・腹水、 気管支洗浄液	尿スピッツ



判定基準

病理	細胞診
Group分類	クラス判定
Group X 生検組織診断ができない不適材料	Class I 異型または異常細胞を認めない
Group 1 正常組織および非腫瘍性病変	Class II 異型または異常細胞を認めるが悪性の疑いのないもの
Group 2 腫瘍性（腺腫または癌）か非腫瘍性か判断困難な病変	Class III 悪性の疑いのある異常細胞を認めるが悪性といいきれない
Group 3 腺腫	Class IV 悪性細胞と判断しうるが、比較的悪性の特徴に乏しくかつ少数である
Group 4 腫瘍と判定される病変のうち、癌が疑われる病変	Class V 明らかな悪性細胞を多数認める
Group 5 癌	

※癌取り扱い規約などに順次、ご報告します。

ベセスダシステム判定

細胞診断結果	略語	推定される病変	総括区分	日母分類	運用例
標本不適正			判定不能		再検査
上皮内病変および悪性を否定する	NILM	非腫瘍性所見 炎症	陰性	I、II	異常なし：定期健診
Mild dysplasiaを否定できない	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	疑陽性	II-IIIa	要精密検査 ①HPV検査による判定が望ましい HPV⊖：1年後の細胞診HPV併用検査 HPV⊕：コルポ、生検 ②HPV検査非施行 6ヶ月以内細胞診検査
HSILを除外できない	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	疑陽性	III-IIIb	要精密検査：コルポ、生検
Mild dysplasia	LSIL	軽度異形成	疑陽性	IIIa	要精密検査：コルポ、生検
Moderate dysplasia	HSIL	中等度異形成	疑陽性	IIIb-IV	要精密検査：コルポ、生検
Severe dysplasia		高度異形成			
CIS		上皮内癌	陽性		
Squamous cell carcinoma	SCC	扁平上皮癌	陽性	V	要精密検査：コルポ、生検
Atypical glandular cells	AGC	腺異型または腺癌疑い	疑陽性	III	要精密検査：コルポ、生検 頸管および内膜細胞診または組織診
Adenocarcinoma in situ	AIS	上皮内腺癌	陽性	IV	要精密検査：コルポ、生検 頸管および内膜細胞診または組織診
Adenocarcinoma	Adeno	腺癌	陽性	V	要精密検査：コルポ、生検 頸管および内膜細胞診または組織診
Other malignant そのほか悪性腫瘍	Other	その他の悪性腫瘍	陽性	V	要精密検査：病変検索